

議事要旨	会議名：北九州ESD協議会・令和2年度第5回運営委員会		
日 時	令和3年1月27日（水）18:00～19:30	会 場	オンライン（まなびとESDステーション）
配布物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期アクションプラン 2021～2025 素案</li> <li>・次期アクションプラン 2021～2025 についての意見書</li> <li>・「第3回ESDカフェ」アンケート結果</li> <li>・「市民センター等ESD活動推進事業助成金 募集要項」</li> <li>・令和2年度 北九州ESD協議会 予算執行状況</li> <li>・会員活動発表会及びプロジェクト活動報告会の開催のご案内</li> <li>・12月「ツキイチ」チラシ</li> <li>・1月「ツキイチ」チラシ</li> <li>・オンライン講演会「過去から学び未来に繋ぐ」</li> </ul>		
出席者	所属	氏名（敬称略）	
	北九州ESD協議会運営委員会	日高京子・埜谷章子・渡辺いづみ・原水敦・三宅博之・ 上永陽一・服部祐充子・原賀いずみ・田中誠・佐藤信幸・ 岩谷かおり 北九州市：稲田佳代子 事務局：高橋誠一・山中美鈴	
要 旨	<p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 北九州ESD協議会「次期アクションプランの策定」について</li> <li>2 「市民センター等ESD活動推進事業助成金交付要綱」の改正 及び「令和3年度市民センター等ESD活動推進事業」の募集について</li> <li>3 令和2年度決算見込みについて</li> <li>4 会員活動発表会及びプロジェクト活動報告会の開催について</li> <li>5 新規会員入会について</li> </ol> <p>【報告】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各プロジェクト報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダー活動推進プロジェクト</li> <li>・ブランディングプロジェクト</li> <li>・人材育成・発掘プロジェクト</li> <li>・調査研究・国際プロジェクト</li> <li>・イベントプロジェクト</li> </ul> </li> <li>2 事務局報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言に伴う「まなびとESDステーション」開館について</li> <li>・その他</li> </ul> </li> </ol>		
議題 1	<p>■ 北九州ESD協議会「次期アクションプランの策定」について</p> 事務局：次期アクションプラン 2021～2025 （概要案）に基づき説明。		

委員長：本日は、「スローガンについて」「将来ビジョンについて」「重点的取り組む事項について」重点的に議論していただきたいと思います。

#### 【スローガンについて】

委員：前アクションプランのスローガンは苦労して作ったが、なかなか浸透しなかった。当時はまた北九州でSDGsあまり出てきてなかった。

「持続可能な地球のため「学び」「考え」「行動する」北九州ESD」は割と良い。

委員：SDGsがメインテーマとして行動するならば、「持続可能な地球のため「学び」「考え」「行動する」北九州ESD

1, 2, 3ステップで

前アクションプランもすっきりしているか、目的がはっきり表示されていない。

委員長：「持続可能な地球のため「学び」「考え」「行動する」北九州ESD」

ESDのEの学びが入っているのが良い。

委員：文節が長くないように。

委員：前プランもいいが、目的もはっきりして具体性もあるので、「持続可能な地球のため「学び」「考え」「行動する」北九州ESD」がいいのでは。

#### 【将来ビジョンについて】

委員長：前回からSDGsが入ってきているので見直してもいいが、内容は前回のでもいいのでは。

委員：市民、団体などの言葉がバラバラそろえてほしい。NPOを入れてほしい。

委員：どうしてもESDは世界規模といっても日本が中心だったが、SDGsになって地球規模になったので、最初に「持続可能な地球のために」とグローバルに。

子どもたちには「持続可能なまち」というよりも「持続可能な地球」のほうが入っていきやすいのでは。

北九州市では先進的な取組をしていることをアピールできるのではと思う。

委員：私の活動はグローバル、国際である。目標は平和構築。

委員長：スローガンより「持続可能な地球」を入れるとすっきりするのでは。

委員：最初に北九州の地域を出して、最後に地球へと広がっていくのはいかがか。

委員：最初に「地球」が来たほうがインパクトあるのではないか。

委員：最初に「地球」のほうが多くの市民は受け入れやすいのではないか。

委員長：(4)から始まって、逆さにしてはどうか。

委員：全体像が見えてこないピンとこない。

#### 【重点的に取り組む事項】

##### 1 会員による自主的な取り組みの促進

委員：チームというのは実行委員会形式と考えていいか。

チームを始める次期はいつになるか。

事務局：一会員だけでなく、いくつかの会員で共通する目標に向かって活動する団体（チー

ム)を複数つくる。始める時期は予算も併せて次回の運営委員会で検討したい。

委員：やりたいことをやることは大事で、プロジェクトもマンネリ化してきているので斬新さを求めることは賛成。予算はチームにどれくらい考えているか。チームがたくさん出てきたときはどうやって取捨選択行うのか。予算的な裏付けについてどう考えているか

事務局：予算は主に負担金から出ており、それよりランニングコストを差し引いて活動に充てる部分を考えていく必要がある。どこに重点をおいて振り当てていくか議論して決定する必要がある。

委員：いろんな方々にいろんな活動を広げていくことが、今後のESD活動に必要というのは、皆さんの共通認識であると思う。アンケートでもESDが分からないという意見が多かったため危機感がある。チーム制でチャレンジしていくのもいいのではないか。役所的に予算的に限りがあるため、来年度はESD協議会としてどの活動を応援していくか、ここ2、3年はどこに力をいれていくか、テーマ性をもって運営委員会で議論していく必要がある。

委員長：現状では不確定な要素はあるけれども、チーム制でいくことはこの場で問題ないか。運用については今後検討。

委員：協議会の体制として、最初はシンプルにチームだったが、前運営委員長の頃より「プロジェクト」が始まった。数も増えた。実務的なものから様々に広がっている。現状のプロジェクトを洗い出して、新たに分けて進めていくアイデアなども出てくることもある。

委員：今あるRCEは市民主導で行ってきている。特に調査研究国際PJは信頼関係で繋がりが深いもの。ガラガラポンで分けて、単年度で実施するのは絶対に反対。これこそ組織運営に関わるもの。ステークホルダーPJは全参加団体が一同で会する機会を作っていくべきだった。しかし現在は北九大のツキイチが中心で、市民活動が何をすべきか分からない、フィールドさえない状態。その部分の人たちがチームに手を挙げることはあるかもしれない。人材育成と調査国際はプロジェクトとしてしっかりやるべきことがあるから、分けたりくっつけたりなど考えられない。ESDというのは「つながって、ひろがっていく」と最初から行っているのだから、分けるのは違うと思う。

委員：新しいことをするのは、やっていいと思うけれど、抜け落ちてはいけないものがある。国際交流のところでも築いてきたものもある。もっと新たに展開するのもいいが、継続性の部分を誰がどのように行ったらいいのか考えておいたほうがいいのではないかと。毎年重点を変えて進めるのもいいが、継続して行うものも押さえておいてほしい。今後は十分に時間をとってほしい。だれが、どこで、いつ、どこでやるか書かれていないので方法が書かれていないので、全員で考える機会をもってほしい。来年度も行ってほしい。

## 2 ステークホルダー同士の連携・地域外との交流

委員：アワードはESDの評価につながると思うが、地域外との交流にあたるのか。アワードは分類が違うのではないか。

委員：アワードはいいものだと思うが、授賞団体が協議会と関わりがあるか。ただのステータスではなく、つながるきっかけにならないと意味がない。地域に対する貢献度など、表彰されたところだけでなく、エントリーした団体へのフォローが必要。アワードにエントリーしてくれた団体に出前講座をするなど協議会とのつながる仕組みづくりが必要。

委員：エントリーしたところにもう少しフォローアップ、コミュニケーションが必要ではないか。

委員：アワードの審査での違和感があるのは、ESD協議会に関係ないものが多い。SDGs = ESDではない。SDGsクラブがアワードの主幹部門になるべき。ESDの活動に対し別のESDアワードであってもいいのではないか。どうしてESD協議会がSDGsの審査をするのか。それを市役所へ検討してほしい。

委員：出前講座をコロナ禍でどう進めるべきか、オンラインなど検討して。

## 3 次世代の育成

委員長：次世代というのが、協議会のメンバーだけではないということでもいいか。

委員：「SDGs活動」の「活動」はいい。

委員：今までの活動を振りかえって、公教育の教育委員会など教育機関との連携をもっとうたってもいいのでは。特に「SDGs」に学習指導要領に入ってきているので。

委員長：4の協議会の推進体制と活動拠点のあり方は、体制の話に戻るのでまた次の機会に行います。

## 議題2

### ■「市民センター等ESD活動推進事業助成金交付要綱」の改正

及び「令和3年度市民センター等ESD活動推進事業」の募集について

事務局：この事業の募集期間は3月下旬までとして、4月に臨時運営委員会を開催して助成団体を決定している。今年度は、コロナ禍で予定通り事業が実施出来ない状況なので、募集期間を1か月延ばし、4月下旬とし、5月の運営委員会で助成団体を決定したい。交付決定が遅れることにより、事業実施に支障を来さないために交付要綱を一部変更するもの。

事業の実施期間を、助成金の交付決定の日から～ → 当該年度の4月1日から～に変更。

委員：コロナ禍で事業実施が出来ない状況であれば、募集期間を延期することは問題ない。

<p>議題 3</p>	<p>委員：仮に事業実施を4月に行った後に、助成金が交付されない場合等もありうる。助成金をあてにして事業を行ったのに助成金が出ないということもあり、従来通り、事業実施期間は交付決定の日からでよい。</p> <p>委員長：コロナ禍出もあり、今年度、募集期間延長は行います。しかし、交付要綱を一部変更は再度検討することにする。</p> <p>■ 令和2年度決算見込みについて</p> <p>事務局：コロナ禍で事業実施が出来なかった。特に、イベント関係の事業が中止になった。また、オンラインでの開催が増加したことにより、旅費等の経費も減少した。昨年同様、必要図書があれば購入できます。事務局に連絡ください。</p> <p>委員長：買いたい本があれば事務局に連絡してください。</p>
<p>議題 4</p>	<p>会員活動発表会及びプロジェクト活動報告会の開催について</p> <p>事務局：昨年は、コロナの影響で開催できませんでした。今年度はオンライン開催します。会員の皆様に参加申込みの募集を開始します。</p> <p>委員長：多くの会員の方が参加するように、運営委員の皆様もお声掛けをしてください。</p>
<p>議題 5</p>	<p>新規会員入会について</p> <p>事務局：2名の入会申し込みを説明。</p> <p>委員長：2名とも会員として了解する。</p> <p>【各プロジェクト報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ステークホルダー <ul style="list-style-type: none"> <li>第33回ツキイチの集い（12月19日）</li> <li>魚町 SDGs ウォークラリー</li> <li>第34回ツキイチの集いは中止</li> </ul> </li> <li>●ブランディングプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>未来パレット大29号 発行予定 3月下旬</li> </ul> </li> <li>●人材育成プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>1月22日にオンライン講演会を実施</li> <li>「過去から学び未来に繋ぐ」 講師：森本美鈴氏</li> </ul> </li> <li>●調査研究・国際プロジェクト</li> <li>●イベントプロジェクト</li> </ul> <p>【事務局からの報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第1弾ユースプロジェクト「環境先進企業見学ツアー」</li> <li>12月8日（火）実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーンギフト 地球元気プログラム企画案募集結果について 企画案を募集していましたが、応募者がありませんでしたので、引き続き募集をする。</li> <li>●「まなびと」の開館時間 緊急事態宣言発令に伴い、火曜日～土曜日 11:00～18:00</li> </ul>
和2年度 第6回運営委員会	令和3年3月17日(水) 18:00～19:30
開催予定日	北九州まなびと ESD ステーション